

## ■ 生徒心得

◎校訓「礼節・誠実・品性」を行動の規範とすること。

礼 節	思いやりと礼儀を身に付けた生徒
誠 実	真心と責任感のある生徒
品 性	品格と高い志を持つ生徒

◎一人ひとりが「おりこうブランド」の発信者であることを自覚し、全校生徒の進路実現を支える行動を意識すること。

### <学習>

自ら進んで学習に取り組み、予習復習等の自学を怠らないこと。

### <部活動>

部活動は、人間形成において大きな役割を果たしている。いずれかの部に所属することが望ましいが、やむを得ず入部できない場合においても生徒会活動・学校行事には積極的に参加し、自己の向上に努めること。

### <礼儀>

目上の人に対しては、学校の内外を問わず大きな声で挨拶をすること。また言葉遣いは、丁寧に、正しく、美しくすること。

### <登下校>

- ・地域住民やその他通行の妨げにならないよう、マナーアップを心がけること。
- ・歩道や歩行者用の白線があれば必ずその内側を通行すること。
- ・スマートフォンやイヤホンを使用しての通学は厳に慎むこと。
- ・8時35分までに教室に入室しておくこと。
- ・やむを得ず遅刻、欠席をする時は、8時00分から8時25分までに保護者から担任に届け出をすること。
- ・交通機関が遅れた場合は、遅延証明を担任に届け出ること。
- ・自転車通学は必ず許可を取り、通学用自転車には専用ステッカーをつけること。

### <所持品>

- ・所持品には学年・組・氏名を明記し、自己管理すること。
- ・刃物、化粧品類、装飾品類、漫画・雑誌類、ゲーム、イヤホン等、授業に関係ないものを校内に持ちこまないこと。
- ・机、ロッカー内に許可された物以外の物を置いて帰らないこと。

### <服装・頭髪>

服 装 登校する際は必ず制服を着用すること。また、以下の規定を遵守し、清潔さを心がけること。

- ・スカート・・・丈は膝の線までとする。
- ・スラックス・・・スラックスの裾はくるぶしまでとする。  
※スカートやスラックスの補整は許可を得ること。
- ・ネクタイ・リボン・・・裏に記名し、正しく着用すること。
- ・ボタン・・・常に留めておくこと。特に袖のボタン、胸の第1ボタンに注意。
- ・ネーム・・・卒業生から譲り受けた場合は生徒指導主事の許可を得て、ネームタグの付け替えをする。
- ・ベルト・・・スラックス着用の場合はベルトを着用する。色は黒、紺、茶とし、華美でないデザインとする。

- ・通学靴・・・黒・紺・茶のローファー。ヒールアップのものは不可。  
または黒・紺・茶・白を基調とするスニーカー。ハイカットシューズは不可。靴紐は原則として、靴の基調となる色に合わせる。
  - ・靴下・・・学校指定の靴下を着用する。行事等以外は同サイズの白の靴下も可とする。  
ただし、ストッキングを着用する場合はベージュとし、タイツ着用の場合はベージュ又は黒とする。黒タイツ着用の場合は、白の靴下は履かない。
  - ・マフラー及びネックウォーマー・・・黒・紺・白の単色とする。メーカーのワンポイントは可とする。  
裏面の色は華美でないものとする。
  - ・コート・・・黒か紺のダッフルコートまたはピーコートタイプとする。裏地は華美でないものとする。
  - ・セーター・・・着用する場合は指定の物とする。
- ※ [ネクタイ・リボン] [スカート・スラックス] の組み合わせは自由とする。

頭 髪 頭髪は常に清潔に調整し、パーマや染髪など手を加えてはならない。

### 1 男子

- (1) 耳にかぶらないこと。前髪は眉にかからないこと。
- (2) 後ろ髪がカッターシャツの襟にかからないようにすること。
- (3) もみあげを長くしないこと。ひげはきちんと剃ること。
- (4) デザインカットは禁止。

### 2 女子

- (1) 肩にかかる場合、切るか結ぶこと。結ぶ場合は、横髪等が顔にかからないように、しっかりと耳の下から後ろにながして結び、必要な場合はピンで留めること。前髪は、眉より長い場合は切るかピンで留めること。
- (2) ドライヤーをかけ過ぎないように注意すること。変色した場合は、自然に変色した場合も含め、カット等指示に従って対処すること。
- (3) ゴムの色は黒・紺・茶の単色とし、ピンは黒のヘアピンとする。

その他 爪は伸ばさない。マニキュア厳禁。

眉毛は原則扱わないこと。

ピアス、指輪、ネックレス、カラーコンタクト、ファッションメガネ、化粧品類等は禁止する。

上履き・・・名字のみを漢字で大きく記名する。

靴・サブバッグ・・・登校する際は指定の靴・サブバッグを使用すること。落書き等をしない。

携帯電話・・・持ちこみを可とする。校内では電源を切り使用を禁止するが、授業等で利用する場合はその限りではない。

なお、情報モラルに反して、SNSへの投稿や、なりすまし等のトラブルを起こさないこと。

※ 考査中、携帯電話の教室内持ち込みは禁止する。

めがね・時計等・・・着用する場合は、進学・就職試験時に着用できるものとする。